

4月は雑誌月間です
THE WEEKLY REPORT

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ

2010-2011年度 テーマ

見つめなおそう ローターの心
つくろう 新たな未来を



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 RI会長
レイ・クリンギンスミス

次回例会予定 4月20日 外部卓話
4月27日 会員卓話

VOL. 48 No. 32 (通算No. 2273)

2011年4月13(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

神達岳志様



「さくら」

写真提供: 白井 豊会員

2010-2011年度 会長 白井 豊 幹事 大塚 令昌

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

4月は雑誌月間です
THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.48 No.31 (No.2272) 4月6日(水)晴れ (司会 北村陽太郎委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会員卓話 瀬戸隆海会員

誕生祝



《会員》染谷正昭会員 鈴木 豊会員
《配偶者》染谷(正)会員 熊谷会員

米山カウンセラー



青木清人会員

表彰 米山功労者



瀬戸隆海会員 熊谷 昇会員 武藤康之会員

幹事報告 大塚令昌幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 白井 豊会長

御挨拶申し上げます。

東日本大震災発生から一ヶ月経とうとしています。まだまだ余震が続き、落ち着かず、また福島第一原発の事故で、水道水、野菜、原乳、そして稚魚にも放射性物質が検出されました。色々と不安が増します

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT



が、こういう時こそ夫々知恵と落ち着きを持って行動したいと思います。被災地の人々の無念に深く思いをはせると共に、被災しなかった我々には理性が問われているのではないのでしょうか。

3日に終了した選抜高校野球大会は東海大相模高校の優勝で幕を閉じました。準優勝の九州国際大学付属高校の若生監督は、仙台市出身で御家族が被害に遭われ、また教え子を津波で亡くしましたが、故郷に帰らず大会終了まで指揮を執られました。故郷を元気づけようと体調が悪い中、一試合一試合勝ち進み指揮を執られる姿には頭が下がる思いがしました。また、この大会での岡山・創志学園高の野山主将の選手宣誓は本当に胸を打ち「がんばろう！日本」と書かれた紙を掲げた前橋育英高の応援団の応援と共に感動させられるものでした。長く多くの人の心に残るでしょう。

先週の例会に引き続き、支援の相談を重ねていきたいと思いますので、会員の皆様の更なるご協力をお願い致します。

会員卓話

瀬戸隆海会員



先日、会議がありまして京都に行ってきました。途中、新幹線の中で、会議の場所に行くのにバスにしようか、地下鉄にしようか、それとも、タクシーで行こうか、いろいろ考えてみましたが、一番手っ取り早いのはタクシーです。でも、この時期、春休みということもあり、まあ震災の後でも関西はそれほど影響もないだろうけど、道路は混んでいるかもしれないし、まあ、一番無難なのは地下鉄かなど。

駅に降りて、地下鉄に乗る前にバスターミナルの前に行きました。ところが、バスターミナルにある洛バスの乗り場には、ほとんど人が並んでいませんでした。この時期だったら、もう観光客で何十人どころか、普通は2、3台待たないと乗れないのに、たまたまいた洛バスの銀閣寺行きにすぐに乗れました。それも、バスの座席に座れました。

話は逸れますが、洛バスというのは、御存じの方もいるかと思いますが、京都市内の観光名所を回る急行バスの事で、三つのコースがあります。三十三間から清水寺、祇園、平安神宮、銀閣寺に行くコース、二条城、北野天満宮、金閣寺、北大路バスターミナルに行くコース、そして、北大路バスターミナルから大徳寺、金閣寺、今出川通りを通過して百万遍、銀閣寺と回るコースと三本出ています。いずれも市バスですので、乗り放題のチケットを買えば、一日500円で回れますので、大変人気があるバスです。

ということで、会議も終わって知り合いの方々から地震のお見舞いのお電話をいただきましたので、お礼かたがた行ってきました。その店の御主人と色々とお話を聞いて、だいぶ京都も観光客が減ったみたいで大変ですねと、話したところ、人出は今一なんですけど、ホテルや旅館などは、当然団体とか個人客とかのキャンセルが相次いであったそうですが、そのかわり、地震で被災された方たちが長期滞在ということで満室ということなんです、との話でした。親戚の伝手の関係とか、京都市が被災者の救援とかで受け入れているそうなんです。

こんな遠くまで、支援の輪が広がっているのだなあと思えました。

そういえば、被災者の受け入れについては、ほとんど全国的に表明しているとニュースでは見ましたが、実際こんなに来ているとは思いませんでした。

さて、これからが話の本台なのですが、実は震災の時、自分は青森から東京に帰る新幹線に乗っているときに遭遇いたしました。青森で、研修会がありまして、その講師の一人として7名のメンバーで3月7日から滞在していました。研修会がお昼過ぎに終わって、会場から新青森の駅に向かう途中、自分は夕方から増上寺で4月1日から行われる法要のリハーサルがあったので、他の講師たちよりも一列車はやい1時

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

42分発の「はやて」を予約しました。ホームに着いたら、ちょうど新しくはしりだした新型車両の東京からの「はやぶさ3号」到着した後で、携帯のカメラに収め、間もなく予約した「はやて」に乗り込み東京にむけて発車しました。自分の席は10号車の最後尾、つまり後ろにドアがあって、その向こうは運転台件車掌室。盛岡で秋田からの「こまち」と連結をし、東京に向けて爆走している最中に、停電になりすぐにブレーキがかかり停車しました。停車場所は、新花巻駅の手前10キロ地点だそうです。間もなくして、地震の揺れが感じました。思うほどの激しい揺れではありませんでしたが、結構長い時間揺れていたのを覚えています。

昨日のニュースで、新幹線の地震対策ということで放送しておりましたが、東北新幹線には東京から青森に行く間に60近くの地震計と、太平洋沿岸に10か所の地震計が備え付けてあって、ある程度の揺れを感じた時に、自動的に停電してすべての新幹線が停止する仕組みになっているそうです。ちょうど大地震の時、東北新幹線上には24本の列車が走っていたそうですが、すべて緊急停止したので、脱線は免れたのだそうです。

さて、車内アナウンスで、地震の為に停車で点検の後発車しますというアナウンスでした。しかし、後ろの運転室からは警報音と運転指令所からの緊迫した指示連絡の声が聞こえてきます。たびたび、地震が続きますが、安全に支障がありませんので落ち着いて着席してくださいとのアナウンスがありました。一時間しても動く様子もないし、このままだと増上寺にも時間に遅れると思ったので、携帯をかけたのですが、御話し中の信号音なので、とりあえずメールを入れました。しばらくして、「東京も大変なことになっていて、稽古は中止します」との返事。

一体どうなっているのだろうと思い、持っていた iPad でインターネットに接続したところ、もうすごい画像がどんどん表示されました。もちろん、仙台駅がすごいことになっているところとか、津波の様子とか、ディズニーランドの事とか……。もう、日本中がパニックになっている。意外と冷静というよりはあきらめなのか、穏やかに時間を過ごしているのは我々の乗っている新幹線の中なのか。この分では、しばらく家には帰れそうにもないし、翌日の法事の事とか葬儀の事とか……。すぐに家に今日中には帰れそうにもないからとメールを送り、これは長期戦になると思い、携帯の電源を切りました。

当然、停電ですから、車内の電気も暖房も止まっています。かろうじて、非常用の電源はありましたので、少しの間はトイレは使えました。外は、深々と雪が降っています。車内のアナウンスにより、車内の温度保持のため、カーテンを閉めるように指示が出ました。そのうち、暗くなると同時に、非常用の電源の維持のために、非常用のライトも消され、すっかり車内は暗くなりました。当然、車内アナウンスも使えなくなりましたので、車掌が一両一両回って、状況説明をしていました。たまたま新幹線に乗り合わせていた JR 職員と車掌が、各車両のトイレ付近にいて、持っている懐中電灯で照らしてくれましたが、トイレの水は流れません。

乗り合わせていた乗客の女性が立ち上がって、「みなさん、こういう狭い所にじっとしているとエコノミー症候群になってしまうので、できれば30分に一度立ち上がって歩くことを薦めます。」と叫んだ。とても勇気ある行動だけど、こんな真っ暗の中で歩くのは、いささか危険を伴うのではと思っているうちに、その叫んだ女性が歩いたら華躰いて転んでしまいました。明らかに、身を以って証明してくれました。

自分は、新幹線に乗る前にペットボトルの飲み物を2本持っていたので何とも思いませんでしたが、時間がたつにつれて、のどが渴いた人が出始めた人もいました。そうはいっても、冷え込みはだんだんと厳しくなり、当然食べ物もありませんでしたので、寒さが身にしみてきました。

列車が止まって8時間ほど過ぎた頃でしょうか、車掌をはじめ JR の職員が、私のうしろの運転室前に集まってきました。そして、非常用のはしごも運んできました。何か動きがあるのかなど。間もなく、反対方向の線路に、救援車両が到着したみたいでした。その車両から、救援物資が届いた様子です。積み込み作業が終わって、救援車両のライトが見えなくなりました。車掌初め JR 関係者は、救援物資を各車両に運び出しました。配られたのは、使い捨てカイロ一つ、ペットボトルのお茶一本、そして毛布一枚でした。そ

4月は雑誌月間です THE WEEKLY REPORT

れでも、冷え込んだ身体にとっては何よりの御馳走でした。

毛布にくるまって、一夜を明かしましたが、とても寒くて寝られる状態ではありませんでした。

やっと夜が明け、少し太陽が出てきました。それでも、周辺はただ新幹線が動かないだけで、なんら地震の被害がひどいとは感じさせない光景でした。夜が明けると同時に、ヘリコプターの音がけたたましく聞こえてきました。たぶん、自衛隊のヘリコプターなんでしょう。

トイレに行くと JR の係員が、トイレの中に簡易トイレが設置されていますので、用を足した後は簡易トイレの袋を、設置してある大きな袋に入れてくださいとの説明がありました。

席に戻ってしばらくすると、車掌初め JR 関係者が集まってきました。どうも、今後の乗客の避難誘導の方法の打ち合わせのようでした。

各車両ごとに乗客を避難はしごを使って新幹線からおろし、軌道をしばらく歩いて、保安用の出入り口へ誘導され、そこからバスに乗って盛岡の避難所に誘導するということでした。

我々が新幹線から脱出したのは、停車後18時間経ってのことでした。バスに乗って盛岡に向かう途中、バスの中では地震の様子ニュースと、地元放送局ということで、卒業式延期の旨の学校からの指示連絡や、ガソリンスタンド情報、避難物資配布情報等、地震情報ばかりでした。停電ということもあって、御店も開いていないのは当然ながら、信号機も消えたまま。でも、事故もなく、粛々と車は流れていました。盛岡あたりは、建物の被害は見渡りませんでした。

盛岡駅前前の県の施設の避難所に案内され、やはり毛布一枚とペットボトルが配られました。どこか部屋に案内されるのかと思いきや、ロビーや廊下で直に座ってくれとのこと。もちろん、停電していますので、建物の中は薄暗く、暖房もなく、もちろんトイレも流れていませんでしたので、臭いもしていました。

携帯の電源を入れると、メールや留守電が数多く入っていました。でも、携帯の電池の残量も乏しく、返信するのでさえまなりませんでした。

ところで、この避難所で多くのボランティアを見かけました。ボーイスカウトのメンバーや、青年会議所や商工会議所青年部とか、本当に若い人たちが、この混乱の中いろいろと避難してくる人の世話をしているのには、感謝いたしました。

新幹線開通までしばらくお待ちください、というアナウンスはあったけど、この状態では新幹線は当分の間は開通する見込みもないし、高速道路も使えないし、レンタカーがあるわけでもないし、このままでは、東京には帰れないと思い、あとの交通手段と言えば、考えられるのは、飛行機だけ。近くの飛行場は三沢か青森か、秋田か。三沢なら、米軍と自衛隊と共有だから、なんとか飛んでるだろうと思い、三沢に戻る決心をしました。でも、そこまでの交通手段はとを考えていたところ、たまたま、八戸に行く人いませんかと、タクシーの相乗り募集をしていたので、一緒に八戸に行くことにしました。

盛岡から八戸までは、約100キロの道のり。タクシー代で32000円ほどでした。信号もついていないので、むやみに飛ばせるわけでもないし、あちこちのガソリンスタンドでは、給油待ち渋滞。どうにかこうにか八戸に着き、駅の構内でタクシーから降りて、別のタクシーで三沢空港に行きました。ところが、いつもは海岸方向に走って三沢空港に行くんですけど、今回はずいぶんと海とは反対方向に走っていくので、タクシー料金を吹っかけられているのかなと思いましたが、そこは聞き出すこともできず、三沢空港にとりあえずは到着し、キャンセル待ちで東京に戻ってきました。

ところで、今回この地震を体験して、思ったことがいくつかありました。それは、ボランティアの人たちの対応が早いこと、そして、行政とくに政府の対応の遅さを感じたことはありませんでした。以前、映画のセリフに「事件は机の上で起こっているのではなく、現場でおこっているのだ」とあるように、中央だけで一方的にマスコミ対応に追われているように伺えます。だから、現場の人間に知らされる前にマスコミ発表をしようという後手後手の混乱。そして、民間には節電と言っておきながら、中央はこうこうと電気をつけて、ワイシャツを腕まくりするくらいの暖房。

それから、被災者にとって今一番なくてはならないこと、そしてこれからなくてはならないこと、そして、

4月は雑誌月間です THE WEEKLY REPORT

日本経済にとって影響を最小限に抑えることの手段、これが民間より対応が遅れているように思えます。先日のテレビの中で、いま被災者にとって必要なのは笑顔だと言っていました。この大変な状況の中で、笑顔になり前向きになりと言われてもなかなかできるものではないと思います。

自分も、16年前の阪神淡路大震災のときに2度ばかりボランティアに行きました。最初のときは、とてもありがたく救援物資をもらっていた人たちも、二度目の時は、他に何か物はないのかと言われてしまいました。

救援慣れしてしまったのです。救援されて当たり前、何もしなくてもやってもらえるという心の病気。先日のテレビで、不活発性症候群ということをやっていました。自分から行動を起こそうとしなくなってしまう心の病気です。そうならないためにも、被災した人もそうでない人も、できることから行動を起こそうという運動をしなくてはならないのでしょうか。

昨日のニュースで、被災していない東北の製品を買って下さいということがありました。そういう、事をしてあげるのも経済活性化の一助のなると思います。

ぜひとも、いろいろ考えながら節制するだけではなく、どうしたら日本の経済を活性化することを考えながら行動を起こすことを期待してやみません。

出席報告 (古谷榮一委員長)

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 賜暇 | メーク | 出席率 |
|------|------|------|----|-----|--------|
| 57名 | 39名 | 18名 | 0名 | 0名 | 68.42% |

ニコニコボックス 北村英明委員長

入金計 ¥42,000 累計 ¥1,745,000

誕生祝御礼《会員》鈴木(豊)・染谷(昭) 各会員 《配偶者》染谷(正)・熊谷 各会員

満開の桜の下で復興支援に頑張らしましょう。 白井会員

卓話させていただきます。 瀬戸会員

瀬戸さん、卓話宜しくお願いします。 古矢会員

受け入れていた避難民の方々9名、本日無事帰郷されます。 鈴木(茂)会員

米山カウンセラーがんばります。 青木(清)会員

震災大変ですが、縮こまらずに頑張っていきましょう！！ 門協会員

その他 横山会員

本日早退します。 青木(全)・熊谷 各会員

例会欠席しました。 倉持・石塚(利)・松崎・染谷(昭) 各会員

会報委員会 秋田政夫委員長 石塚利明副委員長 穂戸田好範委員 石塚幸一郎委員

